

## 竜巻発生確度ナウキャスト及び雷ナウキャストの 発表開始について

気象庁では平成22年5月27日から、発達した積乱雲に伴う激しい突風を予報する竜巻発生確度ナウキャスト及び雷を予報する雷ナウキャストを発表します。

発達した積乱雲の下では、急な強い雨、激しい突風、落雷等の激しい現象が発生します。このような現象に的確に対応するには、刻々と変化する気象状況に基づき即時的に行う予報（ナウキャスト）が有効です。

気象庁では、雨の即時的な予報として、「降水ナウキャスト」を発表していますが、これに加えて、発達した積乱雲に伴う激しい突風を予報する竜巻発生確度ナウキャスト及び雷を予報する雷ナウキャストを平成22年5月27日（木）13時から発表します。

気象庁は、平成18年に相次いで発生した竜巻による被害を踏まえ、竜巻など激しい突風に警戒を呼びかけるための監視・予測技術の開発を進めてきましたが、この「竜巻発生確度ナウキャスト」及び「雷ナウキャスト」は、これらの取り組みの成果として発表を開始するものです。

竜巻や雷については気象情報や雷注意報、竜巻注意情報でも注意を呼びかけています。気象庁が発表しているこれらの情報と組み合わせ、有効にご活用下さい。

[本件に関する問合せ先]

予報部予報課気象防災推進室 03-3212-8341 内線3126  
予報部予報課 03-3212-8341 内線3134

## 1. 竜巻発生確度ナウキャスト

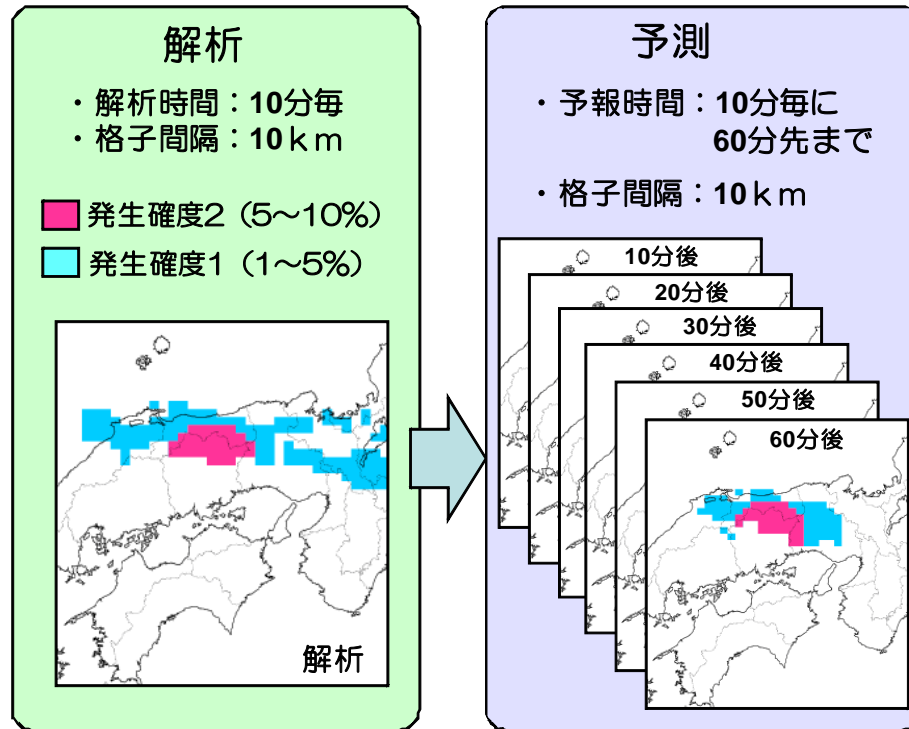


図1 竜巻発生確度ナウキャストの概要

表1 竜巻発生確度ナウキャストの階級

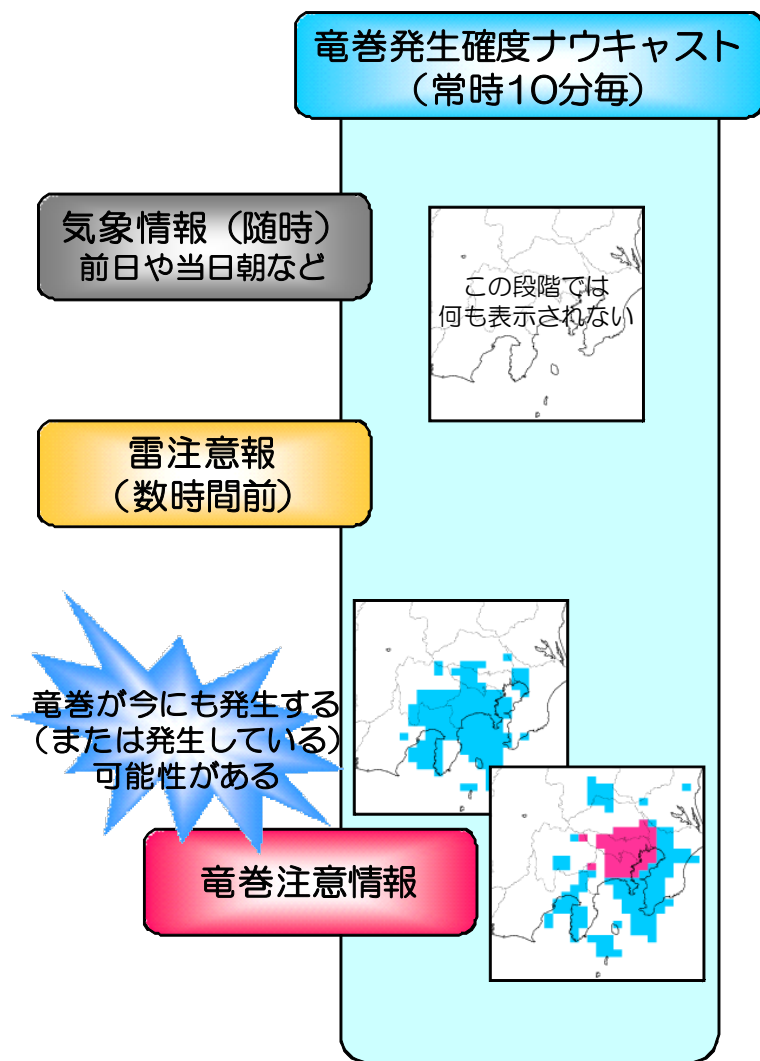
発生確度 2	竜巻などの激しい突風が発生する可能性があり、注意が必要である。予報の適中率は5～10%程度、捕捉率は20～30%程度である。発生確度2となっている地方(県など)には竜巻注意情報を発表する。
発生確度 1	竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある。予報の適中率は1～5%程度と発生確度2の地域よりは低いが、捕捉率は60～70%程度と見逃しが少ない。

竜巻発生確度ナウキャストは、竜巻などの激しい突風の発生する可能性を判定し、10km四方の格子単位で、60分先までの10分刻みの移動予測を10分毎に行います。(図1)

竜巻発生確度ナウキャストでは、表1のとおり、竜巻などの激しい突風が発生する可能性を2つの階級で表示します。

なお、この竜巻発生確度ナウキャストは、平成20年3月から発表を開始している竜巻注意情報等とあわせて活用することが有効です。その利用方法や留意点などについては、気象庁ホームページ内の「竜巻などの激しい突風に関する気象情報の利活用について(右のURL)」を参照願います。<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/toppuuinfo-rikatsuyou.pdf>

## 竜巻発生確度ナウキャストの利用



- 事前に竜巻の発生が予想される場合には、半日～1日前に予告的な**気象情報**が発表され「竜巻などの激しい突風」への注意が呼びかけられる。
- 竜巻が発生する可能性のある数時間前には**雷注意報**が発表される。
  - ✓ この時点で竜巻発生確度ナウキャストの監視を強めるのが効果的。
- 竜巻が発生しやすい気象状況になると**竜巻発生確度ナウキャスト**で発生確度1や発生確度2が現れる。
- 発生確度2が現れた地域（県など）には**竜巻注意情報**が発表される。
  - ✓ 竜巻注意情報が発表された場合には、竜巻発生確度ナウキャストを併せて利用することにより、危険な地域や今後の予測を詳細に把握することができる。

(注意) 発生確度1の段階で竜巻が発生することや発生確度1や2とならずに竜巻が発生してしまうこともある。

## 2. 雷ナウキャスト

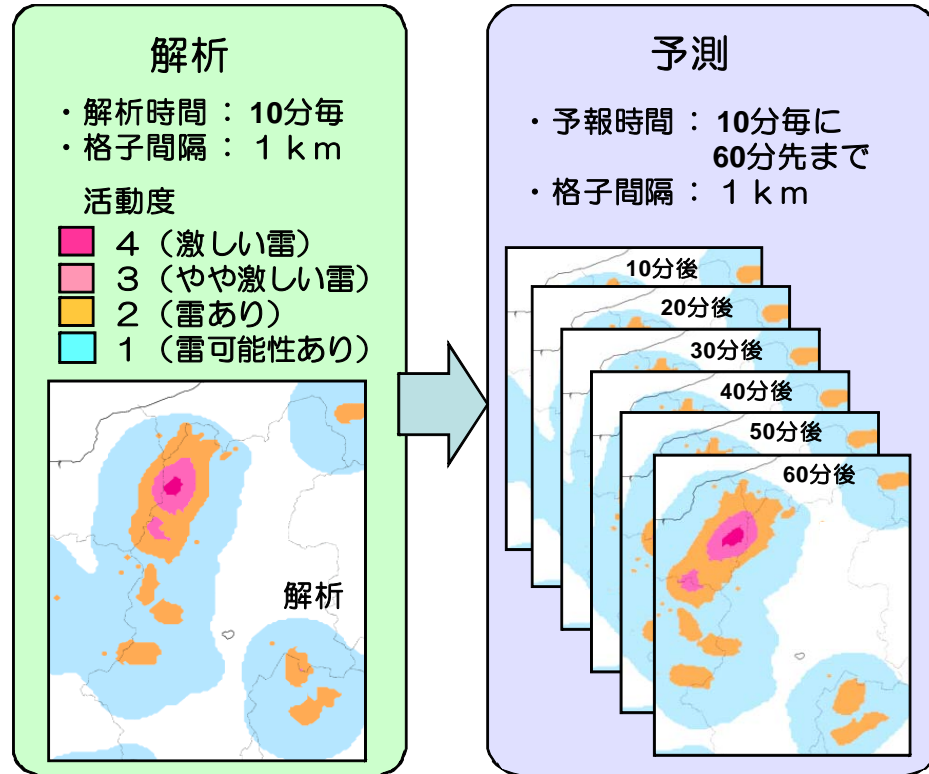


図2 雷ナウキャストの概要

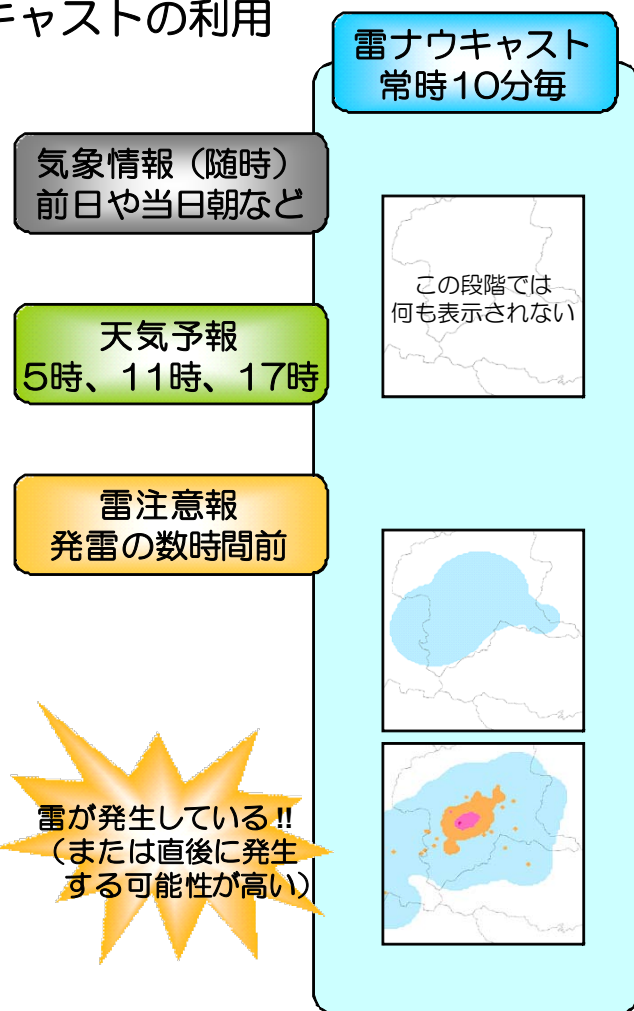
表2 雷ナウキャストの階級

活動度4 (激しい雷)	落雷が多数発生
活動度3 (やや激しい雷)	落雷がある。
活動度2 (雷あり)	電光が見えたり雷鳴が聞こえる。落雷の可能性が高くなっている。
活動度1 (雷可能性あり)	現在は雷は発生していないが、今後落雷の可能性はある。

雷ナウキャストは、雷監視システムにより検出される雷の状況やレーダー観測をもとにした雷雲の解析を合わせて1kmの格子単位で解析を行い、60分先まで10分刻みの予測を10分毎に行います（図2）。

雷ナウキャストでは、表2のとおり、雷の激しさ及び雷の可能性を4つの階級で表現します。

## 雷ナウキャストの利用



- 広範囲で激しい落雷が予想される場合には、半日～1日前に予告的な**気象情報**が発表され、「大気の状態が不安定」、「落雷に注意」などと言及。
- 1日3回発表される天気予報で雷が予想される場合は、「雷を伴う」と示す。
- 雷の発生が予測される数時間前には**雷注意報**が発表される。
  - ✓ この時点で雷ナウキャストの監視を強めるのが効果的。
- 雷注意報の発表中に雨雲が発達を始めると**雷ナウキャスト**で「活動度1」が現れる。この範囲内では、1時間程度以内に発雷の可能性がある。
- 実際に雷が発生、または直後に雷が発生する可能性が高い状況になった場合には、「活動度2～4」が現れる。
  - ✓ 雷ナウキャストにより、雷の激しさや、近づく（遠ざかる）などの予測を詳細に把握することができる。

(注意) 活動度が表示されていない地域でも雷雲が急発達して落雷が発生する場合がある。